

共通情報編

I. 実施要項

(1) 実証実験の日程、会場

- ・ 日時: 2011年11月7日(月)～ 11月11日(金) 午前9時～午後5時
- ・ 場所: 東京都立産業貿易センター台東館(IHE-J コネクタソン会場)

(2) 実施予定テーマ

- ・ 全4テーマ。(データ互換性の患者基本情報、オーダ情報(処方)、オーダ情報(注射)、実施情報(注射)) ※参加状況によって最終決定する予定

(3) 参加予定会社

- ・ 全5社。(富士通、NEC、日立、IBM、SSI)

(4) 費用負担

- ・ 実証実験に関わる自社の費用(作業費、旅費、機器費用など)は各社の負担。
- ・ 実証実験会場費はコネクタソン参加費のみとし、参加費は徴収しない。

(5) 問い合わせ

- ・ 今回の実証実験の専用のMLを開設し、そこで連絡事項やQAなどを行う予定。

共通情報編

I. 実施要項

(6) 今年度の主なトピック

- ・ 実施テーマの追加: 実施情報(注射)
 - ーただし、オーダ情報(注射)の一部のシナリオとして実施
- ・ 基本データセット適用ガイドラインVer.2.1への対応
 - ー標準規約、標準マスターのCS名はVer.2.0暫定版の99xxxを廃止し、Ver.2.1に準拠する。
 - ー施設IDの桁数、仕様の変更
- ・ エクスポート審査の強化
 - ーメッセージの内容と電子カルテ画面、DBの内容との整合性審査
 - ーエクスポート・ポリシー、エクスポート・データの事前審査
- ・ Web画面による審査支援
 - ー審査依頼、審査結果登録のオンライン化
 - ー対戦表の自動出力
 - ー審査員持参のNote PCへの審査シートのダウンロード

共通情報編

Ⅱ. 参加会社と参加テーマ

- ・ 8月19日(金)WGまでに参加テーマを表明していただき、8月19日(金)のWGで実施テーマを最終決定する予定

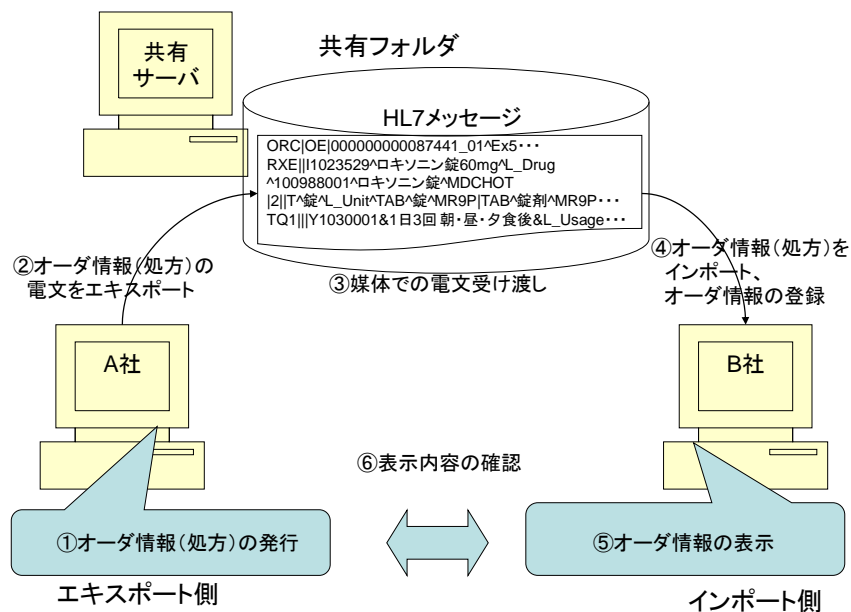
	データ互換性		
	患者基本情報 ※必須テーマ	オーダー情報(処方)	オーダー情報(注射)/ 実施情報(注射)
富士通(株)	○		
日本電気(株)	○		
(株)日立製作所	○		
日本アイ・ビー・エム(株)	○		
(株)ソフトウェアサービス	○		

共通情報編

Ⅲ. 実験概要

各テーマごとにシナリオを策定し、そのシナリオに沿って実験。

(1) 実験概念図



データの互換性

(互換) シナリオに基づいたエクスポートデータを共有サーバの共有フォルダにup。インポート側のシステムは、そのファイルを取り込み確認。

共通情報編

(2)判定方法

- 各テストの合否判定
→審査支援ツールを使用した審査員による目視(電文、画面、ログ)判定
(審査員は各社から最低1名参加し、対戦会社以外の審査員が審査を担当する。)
※エクスポートの審査はエクスポート会社以外の審査員であれば審査可能とする。
- システムとしての合否判定
→最低3社との相互接続完了で合格(参加会社の少ないテーマは2社でも可。)

(3)実験結果の反映

実験当日:Web画面にリアルタイムで掲示予定

実験後:星取り表としてJAHISホームページ上に掲載予定

星取り表(JAHIS実証実験2010の結果)

参加会社名	患者基本情報	オーダー情報 (処方)	病名情報	オーダー情報 (注射)
㈱ソフトウェアサービス	○	○	○	○
日本アイ・ピー・エム㈱	○	○	○	○
日本電気㈱	○	○	○	○
㈱日立製作所	○	—	○	○
富士通㈱	○	○	○	○
㈱両備システム	○	○	○	—

共通情報編

(4) 成果物

実験終了後、エクスポート／インポート共に下記資料を提出

- ・2種類のログ（メッセージ・ログ、アプリケーション・ログ）
- ・自社システムの画面ハードコピー、データベースのダンプ内容

報告書は作成せず反省会で代替する

画面例

The screenshot shows a medical information system window titled 'CAN-1000 (Ver. 01-01 1.3.3-P23)'. The patient information is as follows:

氏名	秋葉原東京	種	様	性別	男性	年齢	28歳 10ヶ月	入院年月日	2006年1月31日	患者番号	0001000042
フリガナ	アキハバラトウキョウ	生年月日	1977年3月5日	血液型		診療科		入院方法		主治医	
病名1		病名2		入院方法		担当看護婦		住所	〒1670021 東京都杉並区井草3-2-1		
電話番号1	03-1234-5679		看護度		電話番号2		体温		看護区分		食種
体温		血圧		脈拍		薬管理		入院目的		手術日	

The interface also includes sections for '健康知覚 / 健康管理' (Current and Past Medical History), '栄養 / 代謝' (Body measurements, diet, weight), '排泄' (Urinary and Bowel movements), '活動 / 運動' (Activity, sleep, diet, movement), and '睡眠 / 休息' (Sleep, vision, pain, mood). At the bottom, there are buttons for 'パスワード', '印刷', '画面切り替え', and '患者一覧'.

メッセージ・ログの例

```
MSH|^~*&|ifProcHL7||RECEIVE||20080205163620.327||ADT^A28^ADT_ZA
1|20080205163620327|P|2.5|||||-ISO IR87||ISO 2022-1994
ZVN||20080205163620||20004^実証^冬子^~~~~~L~~~~~^~ジッショウ^フユコ
~~~~~L~~~~~P|20070130160934|^1310335068010060^KC16
PID|||1301001^P||IBM^患一郎^~~~~~L^~アイビーエム^カンイチロウ
~~~~~L^P|19650415|M||東京都中央区日本橋箱崎町19-21
^^^1038510^H|13|03-3808-4402^PRN^PH-03-3808-4447^EMR^PH|03-
3808-
4421^WPN^PH||||||||||||||N|||20070130160934|^1310335068010060^KC16
...
```

アプリケーション・ログの例

```
02/07 13:30:48 D (C)受信したメッセージの解析結果を
E:¥ciscv300.std9¥bin¥log¥02-1.基本情報-20080207133048-msg-rcv.txt に保
存します...
02/07 13:30:48 I ZVNセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I PIDセグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I NK1セグメントを解析しています...
02/07 13:30:48 I 解析結果は以下の通りです
02/07 13:30:48 D [基本] 患者ID=/1501001/
02/07 13:30:48 D 患者氏名(漢字)=/SSI 患者基本/
...
```

共通情報編

IV. 技術説明

(1) 参照する技術情報(優先順位の高い順)

1. JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st11-103/st11-103.htm>

2. JAHIS標準規約

- 1) 病名情報データ交換規約 Ver. 1.0

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st07-004/st07-004.htm>

- 2) 処方データ交換規約 Ver. 2.0

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st07-003/st07-003.htm>

- 3) 注射データ交換規約 Ver. 1.0

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st10-003/st10-003.htm>

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st10-003/st10-003er001.pdf>(正誤表)

3. 経産省「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」

システム設計書(平成20年3月) 2008.6最終版

http://www.jahis.jp/sougounyou/H19system_sekkeishou_saishuu/

[H19system_sekkeisho_top.html](http://www.jahis.jp/sougounyou/H19system_sekkeishou_top.html)

4. HL7 V2.5 (アクセスキーでの認証あり)

<http://www.hl7.jp/>

共通情報編

IV. 技術説明

(2) 昨年度からの主な変更点

1. Ver.2.0暫定版の99xxxを廃止し、Ver.2.1に準拠する。IOB定義表は99Onnとする。

標準規格名称	コーディングシステム名
HL7定義表	HL7nnnn*
MEDIS ICD10対応標準病名マスター	MDCDX2
日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード (JLAC10)	JC10
MEDIS医薬品HOTコードマスター (HOT番号)	HOT9
「HIS-RIS-PACS-モダリティ間、予約-会計-照射録情報連携指針」コード (JJ1017)	JJ1017
診療情報交換規約運用指針 (MERIT-9)	MR9P
国際疾病分類第10版 (ICD-10)	I10
JAHIS病名情報データ交換規約	JHSDnnnn*
JAHIS処方データ交換規約	JHSP
JAHIS放射線データ交換規約	JSHRnnnn*
JAHIS注射データ交換規約	99Inn*

定義表名	コーディングシステム名	利用フィールド
医療機関コード	99O01	ORC-21, EVN-7, ZVN-7, ZHS-5, PID-34
履歴種別	99O02	ZHS-2
検査項目群	99O03	OBR-4
付帯情報 (検体検査)	99O04	OBX-3
検査付帯項目 (放射線)	99O05	OBX-3
提供者の役割	99O06	ROL-3
用法種別	99O07	RXE-27

2. 施設IDの桁数(16⇒10)、仕様の変更

医療機関コードがある施設の場合

項目名	桁数
都道府県番号	2
機関区分コード	1
機関コード	6
チェックデジット	1

医療機関コードがない施設の場合

項目名	桁数
固定値「9」	1
電話番号下9桁	9

※本実験では上記仕様に従った架空のIDを使用する。

共通情報編

IV. 技術説明

(3) 患者IDの命名規則、桁数

××△△****

・桁数:10桁

・命名規則

××:会社ごとに割り振る一意な番号(参加会社で一意)

△△:テーマごとに割り振る一意な番号

*****:任意の数字

※××△△は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	データの互換性のテーマ		
		①患者情報 (基本情報)	③オーダ情報 (処方)	④オーダ情報(注射)/ 実施情報(注射)
		テーマID:01	テーマID:03	テーマID:04
11	富士通(株)	1101000***	1103000***	1104000***
12	日本電気(株)	1201000***	1203000***	1204000***
13	日本アイ・ビー・エム(株)	1301000***	1303000***	1304000***
14	(株)日立製作所	1401000***	1403000***	1404000***
15	(株)ソフトウェアサービス	1501000***	1503000***	1504000***

共通情報編

IV. 技術説明

(4) 使用する共通マスター 利用者マスター

利用者ID	漢字氏名	カナ氏名	職種
10001	実証 一郎	ジッショウ イチロウ	医師
10002	実証 二郎	ジッショウ ジロウ	医師
10003	実証 三郎	ジッショウ サブロウ	医師
10004	実証 四郎	ジッショウ シロウ	医師
10005	実証 五郎	ジッショウ ゴロウ	医師
20001	実証 春子	ジッショウ ハルコ	看護師
20002	実証 夏子	ジッショウ ナツコ	看護師
20003	実証 秋子	ジッショウ アキコ	看護師
20004	実証 冬子	ジッショウ フユコ	看護師

病棟

病棟コード	病棟名
31	3A
32	3B
41	4A
42	4B

ベッド(各病室共通)

ベッドコード	ベッド名
1	1
2	2
3	3
4	4

病室(各病棟共通)

病室コード	病室名
01	01
02	02
03	03
04	04
05	05

診療科(CS名:99Z01)

診療科コード	診療科名	診療科コード	診療科名
01	内科	21	性病科
02	精神科	22	こう門科
03	神経科	23	産婦人科
04	神経内科	24	産科
05	呼吸器科	25	婦人科
06	消化器科	26	眼科
07	胃腸科	27	耳鼻いんこう科
08	循環器科	28	気管食道科
09	小児科	29	理学診療科
10	外科	30	放射線科
11	整形外科	31	麻酔科
12	形成外科	32	人工透析科
13	美容外科	33	心療内科
14	脳神経外科	34	アレルギー
15	呼吸器外科	35	リウマチ
16	心臓血管外科	36	リハビリ
17	小児外科	A1	鍼灸
18	皮膚ひ尿器科		
19	皮膚科		
20	ひ尿器科		

共通情報編

IV. 技術説明

(5) エクスポートファイルのファイル命名規則

<会社ID><会社英名>_<テーマID>_<シナリオNo>_<データ内容>_R<版数>.hl7

※会社ID,会社英名は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	英名
11	富士通(株)	fujitsu
12	日本電気(株)	nec
13	日本アイ・ビー・エム(株)	ibm
14	(株)日立製作所	hitachi
15	(株)ソフトウェアサービス	softs

※テーマIDは以下の通り

テーマID	テーマ名
テーマ01	患者情報
テーマ03	オーダー情報(処方)
テーマ04	オーダー情報(注射)/実施情報(注射)

※シナリオNoは、「シナリオ1」「シナリオ2」「シナリオ3」のいずれか

※データ内容は、以下の通り

データ内容	データの内容
患者	患者情報
処方	オーダー情報(処方)
注射	オーダー情報(注射)/実施情報(注射)

※版数は、2桁の数で、1から始め、ファイルを改訂するたびにインクリメントする。

※例:IBMがオーダー情報(処方)のテーマのシナリオ3で出力した2版目の患者情報の場合
「13ibm_テーマ03_シナリオ3_患者_R02.hl7」

共通情報編

IV. 技術説明

(6) 作業場所、電源、IPアドレスなどはIHE-Jコネクタソン用に各社で確保した
ものの中でまかなう。実験用機器および審査用PCのIPアドレスは業務用として
余分に申請する。

(7) ボリュームデータ
今年もボリュームデータの試験は行わない。

※その他共通的な技術情報は、適用ガイドラインの3章に記載

V. その他

(1) 実証実験専用メーリングリストの利用方法
質問に合わせて表題を下記規則に従って記載

- ・ 共通情報編 → 【共通】
- ・ データの互換性 → 【テーマ名】
- ・ その他事務連絡 → 【その他】

共通情報編

V. その他

(2) 実証実験に関する主なイベント

7月29日	参加会社向け説明会
8月19日	参加テーマの正式表明期限
9月初旬	実証実験用ML開設
9月中旬	事前検証ツールの配布
10月中旬	ポリシー、データ一覧の事前提出期限
10月下旬	事前審査結果の個別フィードバック
11月7日~11日	実証実験本番
11月下旬	反省会(実証実験WGにて)
12月下旬	JAHISホームページへの結果掲載

(3) 参加会社への依頼事項

1. 参加テーマの表明(8月19日WG)
2. 審査支援ツールで使用する以下の情報の事前提出(10月中旬)
 - －エクスポート・ポリシー、インポート・ポリシー(「ポリシー一覧」シート×テーマ数)
 - －エクスポート・データ一覧(「データ一覧」シート×シナリオ数)
3. 個別フィードバックへの対応(実証実験当日まで)
4. 審査用 Note PCの持参(実証実験当日)
 - －無線LAN対応推奨
5. 反省会への積極的な参加(11月下旬)

共通情報編

V. その他

(4) ローカル・コード／共通コードのコーディング・システム名(CS名)

標準規約、標準マスター以外のCS名はローカル・コードを含め99zzz形式とする。

⇒使用する共通コードのCS名をテーマごとに事前指定。

⇒ローカル・コード用のCS名は各社で任意に指定する。

ただし、99Zzz形式でかつ共通コード用のCS名とかぶらないこと。

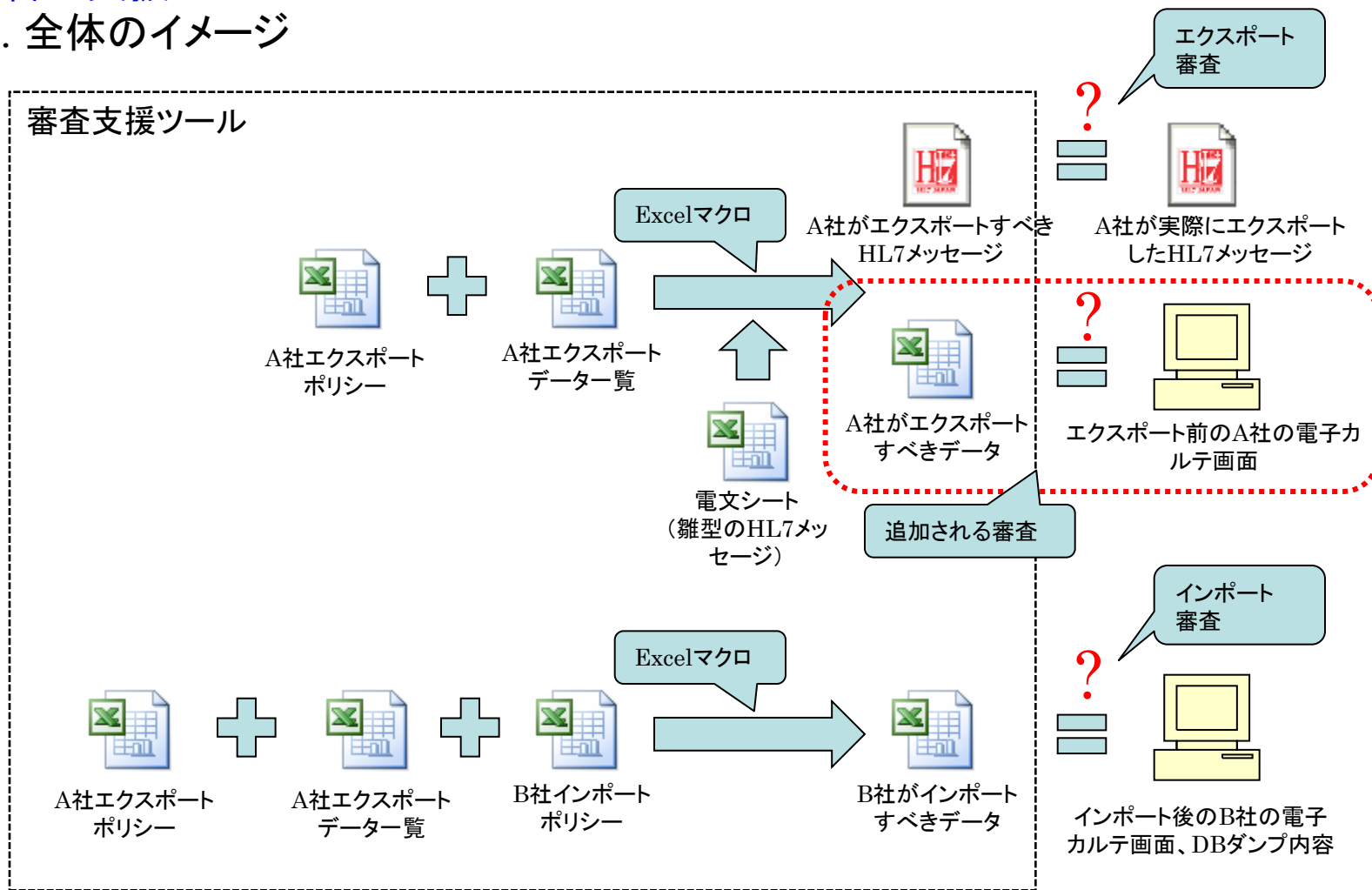
※ローカル・コードのみの出力はNG

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

1. 全体のイメージ



共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

2. 「ポリシー一覧」シート(参加各社から事前提出)

1	JAHIS実証実験10【ポリシー一覧】						
2							
3	テーマ	病名情報					
4	会社名	IBM					
7							
8		基本データセット項目		処理ポリシー		備考	
9	カテゴリ	項目名	項目成分	データ型	エクスポート時		インポート時
10	A.共通情報	更新日時		TS	○	△	
11		更新者	ID		XCN	○	△
12			姓		XCN	○	▲
13			名		XCN	○	▲
14			カナ姓		XCN	○	×
15		カナ名		XCN	○	×	
16		医療機関ID		HD	HD	○	×
17		患者ID		CX	CX	○	○
18		診断医	ID		XCN	○	△
19			姓		XCN	○	△
20	名			XCN	○	▲	
21	カナ姓			XCN	○	×	
22	カナ名			XCN	○	×	
23	版数		EI	EI	○	×	
24	開始日		TS	TS	○	○	
25	終了日		TS	TS	○	○	
26	診断日		TS	TS	○	△	
27	転帰日		TS	TS	○	○	
28			tn		○	×	

シナリオに関係なくテーマごとに1種類

インポート側は実際にはDB用、画面用の2列に分かれます。

制限事項などがあればここに記載する。審査時に審査基準の一部として参照されるので重要。

○:そのまま出力する
 △:変換して出力する
 ▲:他の項目を変換して出力する
 null:出力しない

DBの場合:
 ○:そのまま格納する
 △:変換して格納する
 ×:格納しない
 画面の場合:
 ○:そのまま表示する
 △:変換して表示する
 ▲:他の項目を変換して表示する
 ×:表示しない

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

3. 「データ一覧」シート(参加各社から事前提出)

基本データセット項目									
カテゴリ	項目名	SUFFIX	項目成分	#	データ型	処理ポリシー		エクスポート・データ	
						エクスポート時	インポート時		
	更新日時			1	TS	○	△		2009/08/17 10:40:08
			ID	1		○	△		10003
A. 共通情報	更新者		姓	1		○	▲		実証
			名	1	XCN	○	▲		三郎
			カナ姓	1		○	×		ジッショウ
			カナ名	1		○	×		サブロウ
	医療機関ID			1	HD	○	×		1310335068010080
	患者ID			1	CX	○	○		1302002
			ID	1		○	△		10003
	診断医		姓	1		○	▲		実証
			名	1	XCN	○	▲		三郎
			カナ姓	1		○	×		ジッショウ
			カナ名	1		○	×		サブロウ
	版数			1	EI	null	×		
	開始日			1	TS	○	○		2009/05/10
	終了日			1	TS	○	○		2009/08/17
	診断日			1	TS	○	△		2009/05/10
	転帰日			1	TS	○	○		2009/08/17
病名識別コード	接頭語1	ID	1	1	CWE	○	×		27000249
	接頭語1	名称	1	1		○	×		慢性
	接頭語2	ID	1	1	CWE	○	×		
	接頭語2	名称	1	1		○	×		
	接頭語3	ID	1	1	CWE	○	×		
	接頭語3	名称	1	1		○	×		
	4	ID	1	1	CWE	○	×		200
	4	名称	1	1		○	×		鼻炎
接尾語5	ID	1	1	CWE	○	×		27000027	
接尾語5	名称	1	1		○	×		の初期	
接頭語R	ID	1	1		○	×			

シナリオごとに作成

エクスポートする予定のデータを項目ごとに正確に記載する。

インポート側は実際にはDB用、画面用の2列に分かれます。

ポリシーは「ポリシー一覧」シートからインポートする。

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

4. 「審査表」シート

シナリオ、対戦相手を選択し、「審査表作成」を実行

クリア 審査表作成

HL7ファイル生成 チェック

基本データセット項目				処理ポリシー		シナリオ2		
カテゴリ	項目名	SUFFIX	項目成分 #	データ型	エクスポート	インポート	備考	
A. 共通情報	更新日時		1	TS	○	×	2008/08/17 19:40:08 (null)	
	更新者	ID		1		○	○	10003 10003
		姓		1		○	○	実証 実証
		名		1	XCN	○	○	三郎 三郎
		カナ姓		1		○	○	ジッショウ ジッショウ
	カナ名		1		○	○	サブロウ サブロウ	
	医療機関ID		1	HD	○	×	1310335068010080 (null)	
	患者ID	ID		1	CX	○	○	1302002 1302002
		姓		1		○	×	10003 (null)
	診断医	名		1	XCN	○	×	実証 (null)
		カナ姓		1		○	×	ジッショウ (null)
		カナ名		1		○	×	サブロウ (null)
		版数		1	EI	null	×	(null) (null)
	開始日		1	TS	○	○	2008/05/10 2008/05/10	
	終了日		1	TS	○	×	2008/08/17 (null)	
	診断日		1	TS	○	△	2008/05/10 【DB】 2008/05/10	
転帰日		1	TS	○	○	2008/08/17 2008/08/17		

エクスポートすべきHL7メッセージに問題がないかチェックする

インポート側は実際にはポリシー、データ共にDB用、画面用の2列に分かれます。

エクスポート会社のエクスポートポリシー、インポート会社のインポートポリシーが表示される

インポート会社がインポートすべきデータとインポート方法、特記事項が表示される。

エクスポート会社がエクスポートすべきHL7メッセージが表示される

インポート時、転帰日が無く終了日がある場合には終了日を取得する。両方ともない場合には、9999/99/99と表示。

共通情報編

V. その他

(5) 審査支援ツールとは

5. 「ポリシー」シートの備考欄に記載が必要なケース

- 1) メッセージ上の値を保持したままインポート／表示できない場合
 - －例1: インポート／表示できる文字の種類や桁数に制限がある
 - －例2: 内部コードに変換する
 - －例3: データの精度が失われる(日時のうち日付しか取り込めないなど)
 - －例4: 和暦で表示する

- 2) 状況によってポリシーの値(○、△、▲、×)が変わる場合
 - －例1: 「部位」は外用の場合しかインポートできない

- 3) データ項目間での値の統合やコピーが発生する場合
 - －例1: 転帰日と終了日に転帰日と同じ値を出力する
 - －例2: 転帰日があればその値を、なければ終了日を取り込む

共通情報編

V. その他

(6) インポート・ポリシーの値(○、△、▲、×)の違いについて

ーDBへの格納(DBで審査)

○: 取得したデータをそのまま格納する

△: 取得したデータをプログラムやマスタで変換して格納する

×: 格納しない

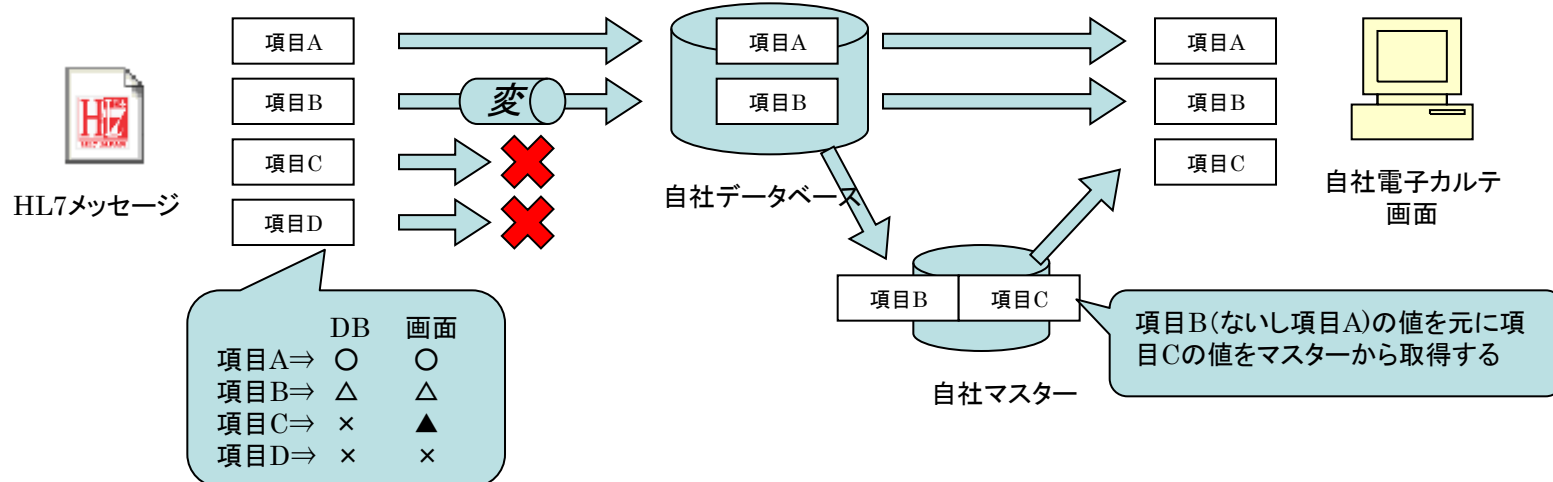
ー画面表示(画面で審査)

○: 取得したデータをそのまま表示する

△: 取得したデータをプログラムやマスタで変換して表示する

▲: 取得したデータを他の項目を変換して表示する

×: 表示しない



共通情報編

V. その他

(7) Web画面での審査支援

1. 機能内容(予定)

- －ユーザー認証
- －審査依頼、審査結果登録のオンライン化
- －対戦表の自動出力
- －審査員持参のNote PCへの審査シートのダウンロード